

ガバナー四方山話

最終回 ロータリーでの経験について

2001年10月に北海道YMCAのチャリティーゴルフでお会いした、石黒直文氏という声の大きな方に「石丸よ、そろそろロータリーに入って良い時期だろう。ついては入会せよ。」という天の声に勝るとも劣らない声掛けで、翌月に札幌西RCに入会しました。石黒さんには私のガバナー就任時に、ガバナーの紹介文をロータリーの友に書いて頂いたのですが、昨年8月にご逝去されたのは大変寂しく残念で仕方ありません。

入会当初は毎週あるクラブの例会に出席できないようになったら、辞めれば良いのだと気楽に考えていました。親睦委員を仰せつかり、例会の受付から始まり、90名近くいた会員皆様の顔と名前を覚えるのに一苦労でした。その他、夏のビール会、秋の観楓会、クリスマス会、新年家族会、観桜会、サクランボ狩りなど休む間もなく親睦イベントをこなして、3年後には親睦委員長を仰せつかりついでに幹事もということで、入会4年目にして、矢橋会長を支える役目となりました。

時は、ロータリー100年のお祝いの年で、札幌西RCは記念事業として、フィリピンのマカティ・ウェストRCとのジョイント・プロジェクトで、マニラのスラム街に住宅を寄贈することになり、矢橋会長のお供でフィリピンに行ったのが、今でも続く国際姉妹クラブと私の交流の始まりでした。

幹事が終わってやれやれと思っていたら2007年度から地区のIC委員会とGSE委員会の両方に出るとの事で、地区の委員会というところに初めて出させて頂きました。IC委員会は翌年、クラブ内で適任の人を見付けて代わってもらいましたが、GSE委員会は2012年まで5年もの間携わっておりました。その間にスウェーデンとドイツとの交流に関われたことはとても良い記憶です。

その間、2008-09年度のガバナーに矢橋さんが決まると、地区幹事をせよとのことで、訳も分からないまま言われたことをバタバタやっているうちに1年が過ぎたと思ったら、2009-10年度のクラブ会長を仰せつかり、PETSや地区研修・協議会をお世話する地区幹事の身で受講をするという不思議な経験もさせてもらいました。

クラブ会長としては特に何をしたということもなく、ただ、会員の皆様が心地よく例会やイベントに参加して頂けるよう幹事とともに、兎に角ソフトな運営に心掛けただけでした。たまたま偶然と言うか、クラブ会長と同じ時期に税理士会の会長となり、その後、例会に出れない期間が続き、そろそろ退会勧告されるのではないかと考えていたら、2016年の秋に、クラブ会長から電話があり、税理士会の会長を2017年3月で終ると聞いたが、2017-18年度のガバナー補佐をするようにというお達しで、国立ガバナーの下でガバナー補佐を務めさせて頂きました。

北海道税理士会の会長を8年務めたおかげで、全道各地に知り合いの税理士が出来て、大概の町では一杯飲める仲間が居りますが、今回はガバナーと言う立場で、税理士の居ない町にも何うことが出来て、とても良い経験をさせて頂きました。すべてのクラブ訪問において温かく迎えて頂き心配りを賜り本当にありがとうございました。また、多くの地区の役員の皆様の支援に心より感謝申し上げます、ガバナー月信の結びとさせて頂きます (完)